

全体計画平面図

※修正案

- 前回協議会での意見（検討が必要なもの）
 - ・ プール脇の桑の木があるが、伐採するのか。→移植を検討
 - また、柑橘系の木を植えて欲しい→植栽を検討
 - ・ 今回の改修では、四阿は5m×5mで面積25㎡であるが、もう少し大きくできないか。

- ・ プール脇の桑の木があるが、伐採するのか。→移植を検討
- ・ また、柑橘系の木を植えて欲しい→植栽を検討
- ・ 今回の改修では、四阿は5m×5mで面積25㎡であるが、もう少し大きくできないか。

遊具配置は前回案 —
別途検討（別頁参照）

時計

スロープ (8%)

井戸枠の利用

電話BOX CCBOX

歴史解説サイン・力石
園路（4%）

二七通り口

二七通り

サイン ※新植樹木

※既存樹木

ライオン像

園路 (8%)

脱色アスファルト舗装

植栽帯+ベンチ

東郷坂口 バリアフリー動線 階段

階段

桜の移植

番町学園通り口

黒：計画高さ

青：現況高さ

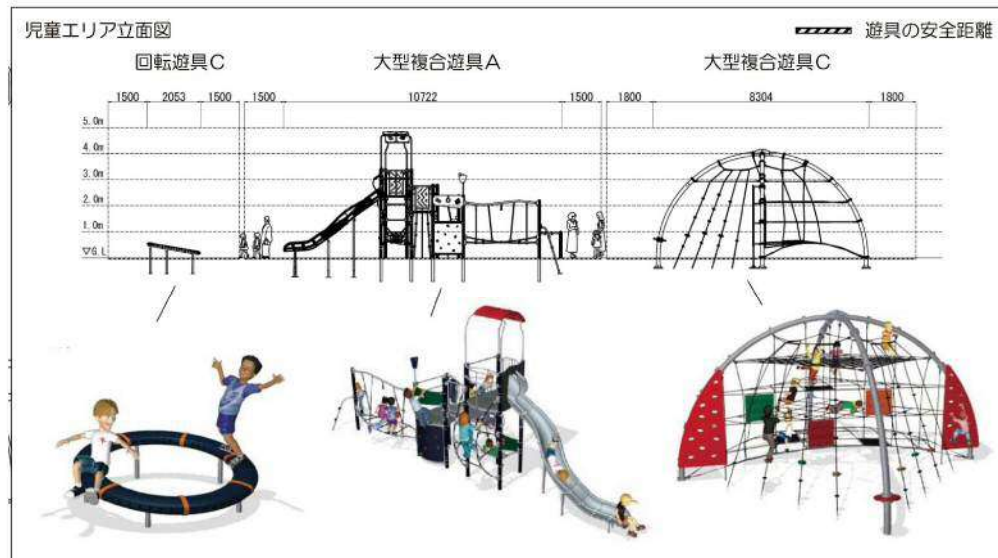
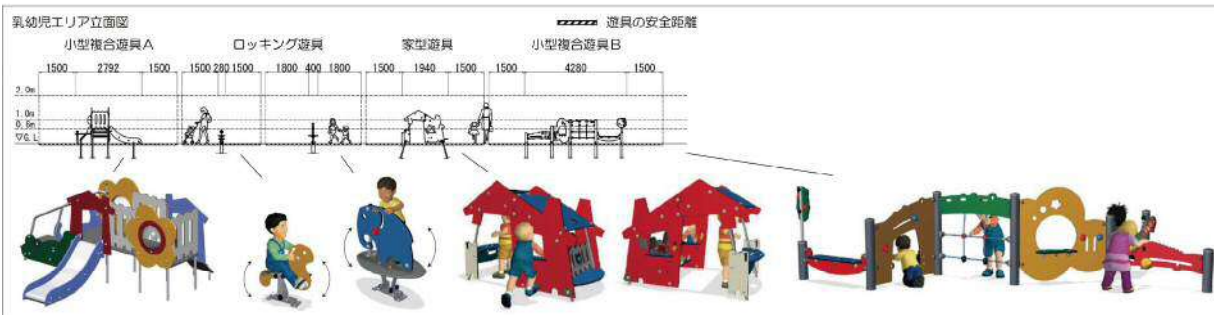
 既存樹木

 新植樹木

Scale = 1/400

■遊具に関する意見（前回協議会）

- ①遊具の配置について、小さい子供が入りやすくなるよう、乳幼児エリアと児童エリアを逆にした案を検討する
- ②デッキの配置については、デッキではなく座れる場所があれば良いが、一方で乳幼児エリアについては、デッキやそれに近い形状のものでよじ登れるようにすることも考えられるという意見。この意見を基に、デッキを縮小する方向で検討したい。
- ③B-2案を基に、デッキの縮小、ターザンロープに変わる遊具について検討する。
- ④遊具間を密に詰めすぎないような配置について検討する。
- ⑤ブランコと隣地の間をもう少し空ける。鉄棒を中段に持っていくことについても検討する。
- ⑥回転遊具については、安全性の高い回転遊具Cを検討する。

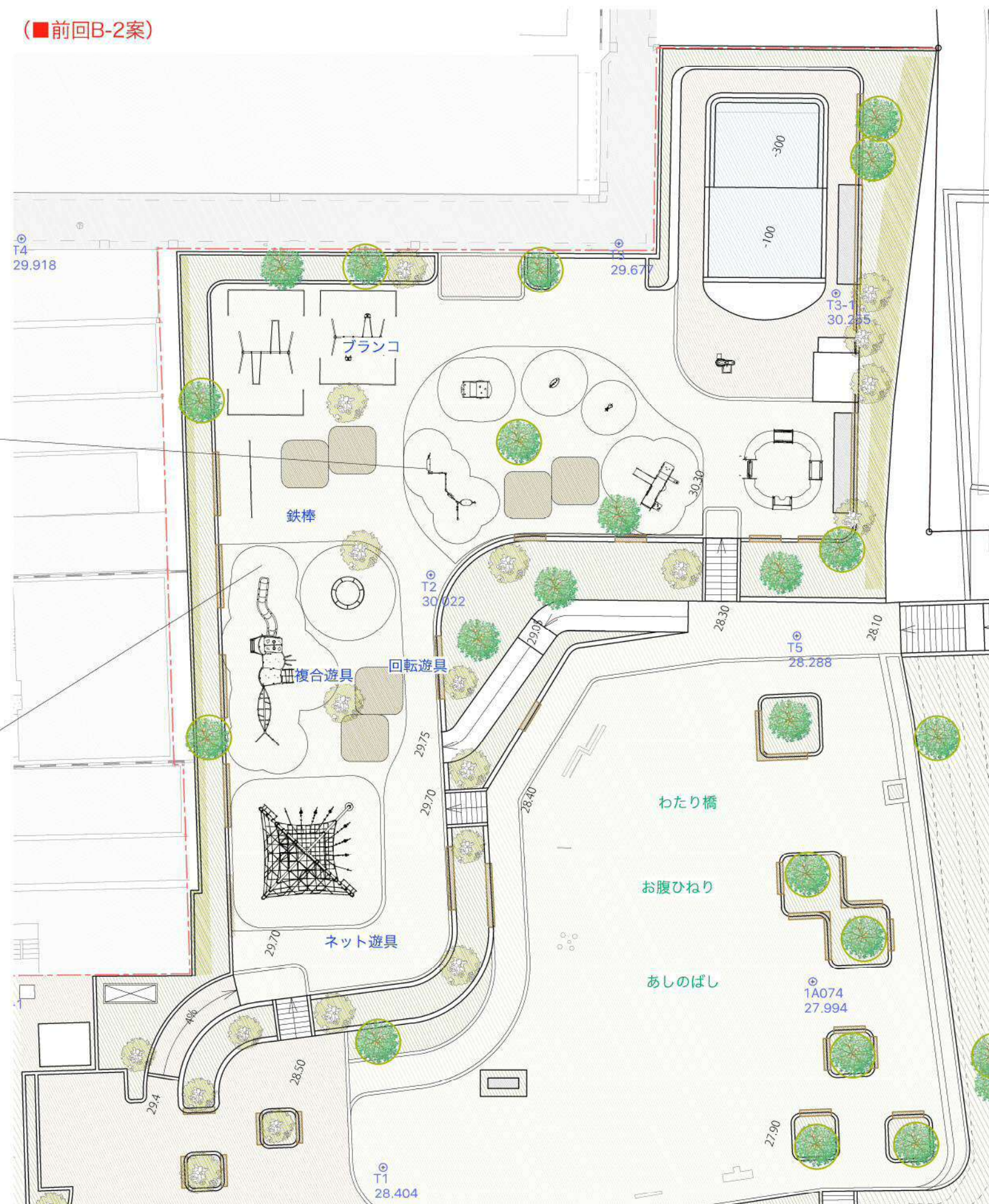


- ①ブランコを西側入り口に配置し、小さい子供が入りやすいように配慮する
- ②デッキは乳幼児エリアのみ配置し、児童エリアは遊具を充実させる
- ③ターザンロープに変わる案を以下の通り提案する
A案：複合遊具＋ネット遊具＋回転遊具
B案：複合遊具（拡張）
- ④遊具間には適切なゆとりを持たせる
- ⑤鉄棒を中段広場に配置する。ブランコは分けて配置する。
- ⑥回転遊具Cを提案する

※次の理由により乳幼児エリアを東側配置とする

- a) プールと砂場の関係性（乳幼児ゾーンとして近い方が良い）
- b) ユリノキの保存（複合遊具の配置に制限が出る）
- c) 入口の安全確保（動きの大きい複合遊具を上段広場の奥に配置）

（■前回B-2案）

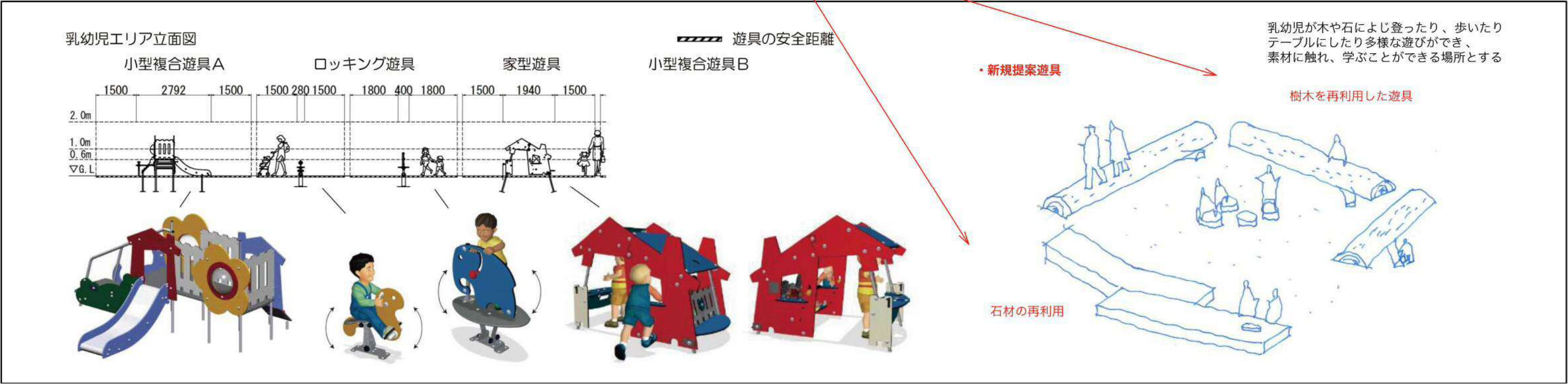
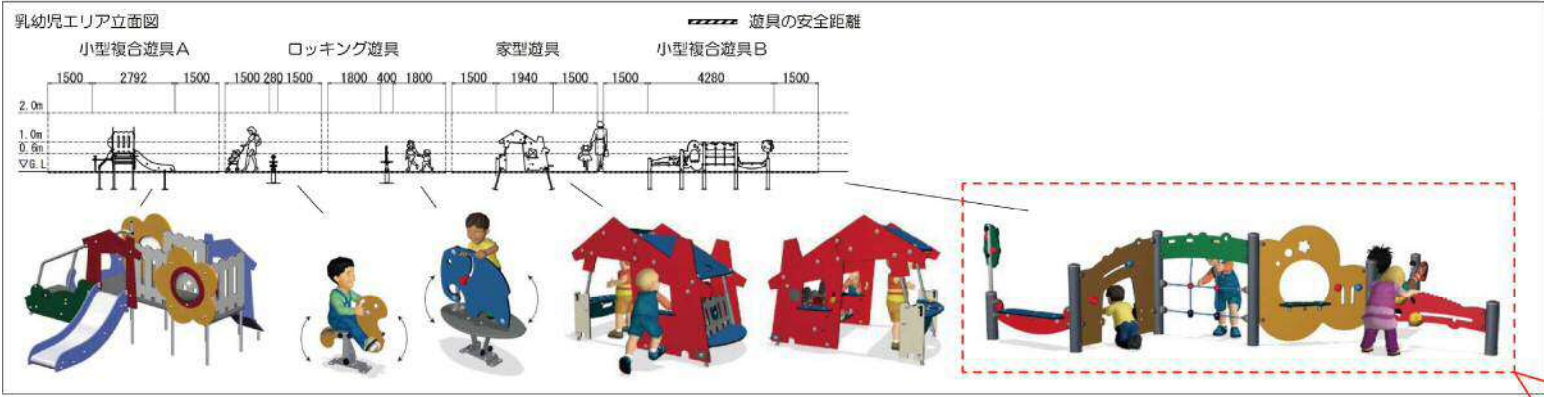
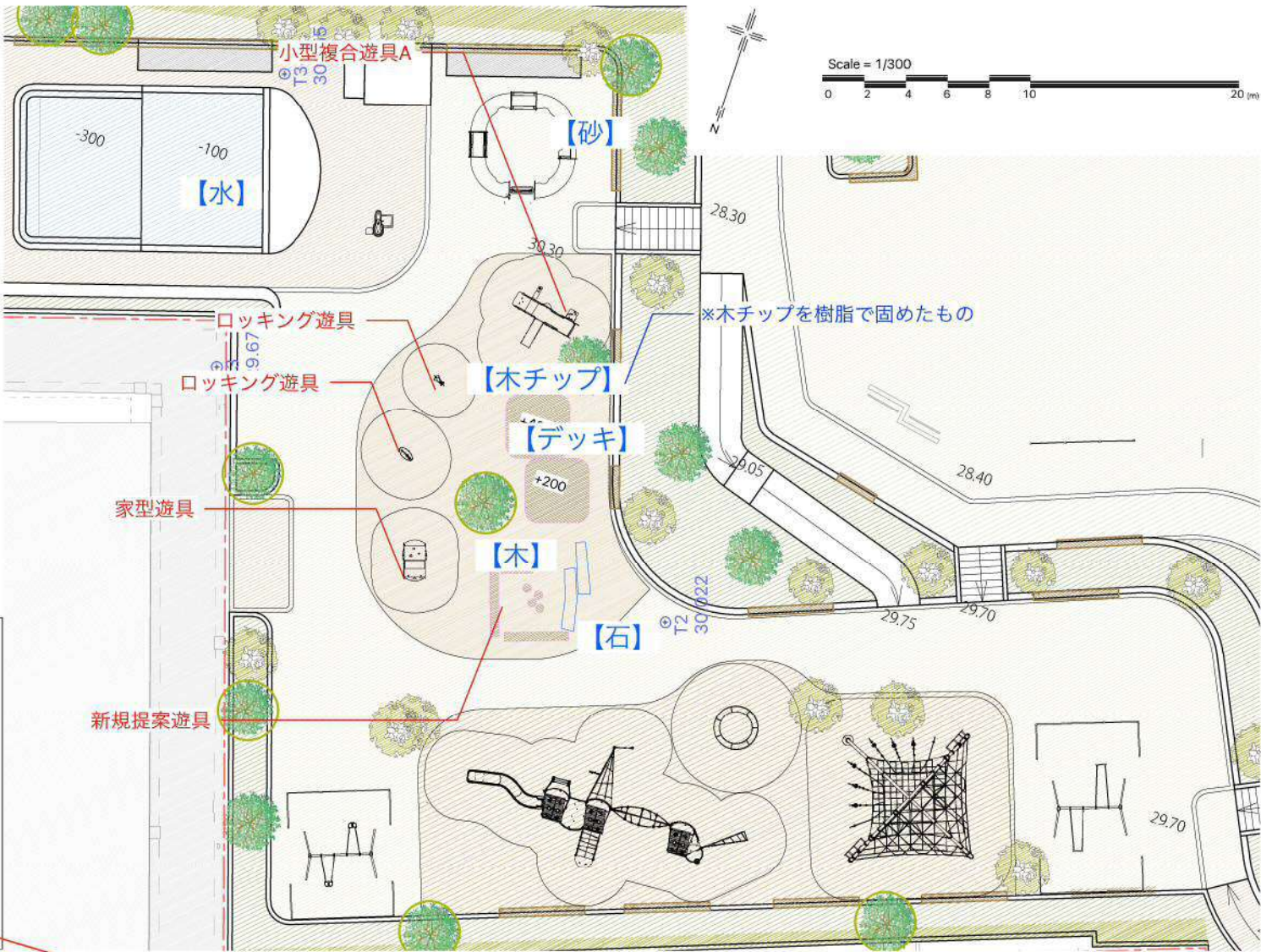


乳幼児エリアの修正

- ・ 小型複合遊具Aと小型複合遊具Bの遊び方が似ているため、
小型複合遊具Bを別の遊具で提案
- ・ 単純な形状で自由に遊ぶことができる遊具（のようなもの）を設置する
- ・ 公園内で伐採される樹木を再利用した丸太遊具を設置する
- ・ 単純な形の中にも遊びを誘発する形や大きさのものを選定
- ・ 木チップ、砂、水、木、石といった様々な素材に触れることができる
乳幼児エリアとして位置付ける

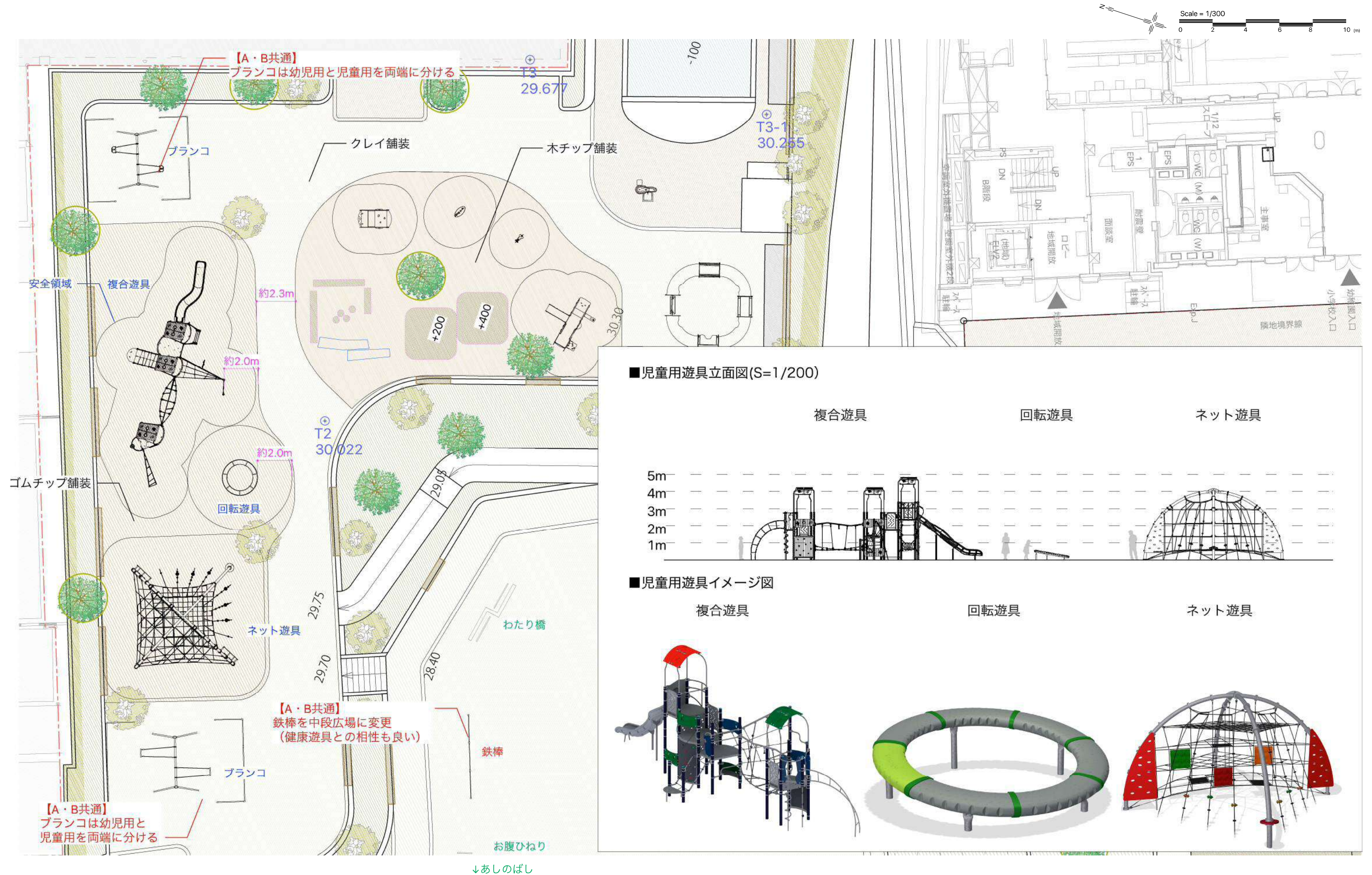


単純な形状で自由に遊べる例



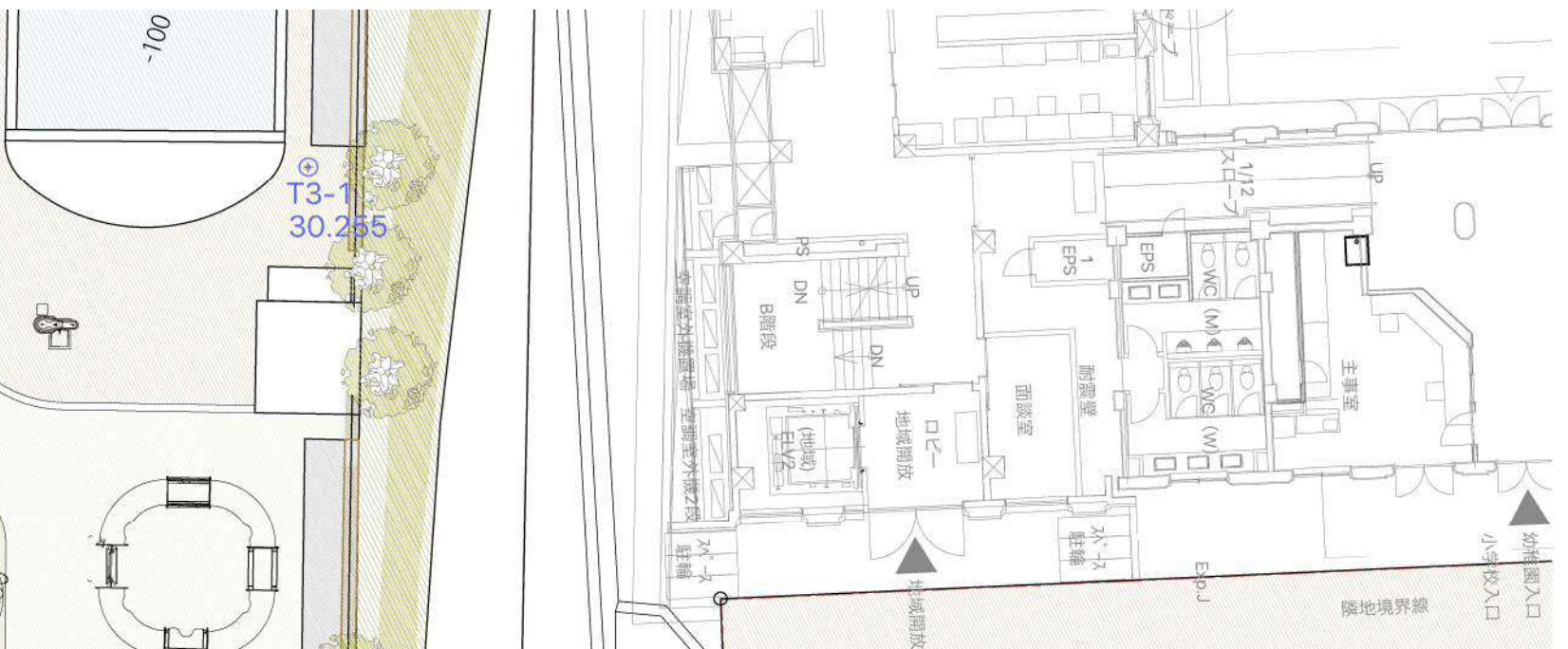
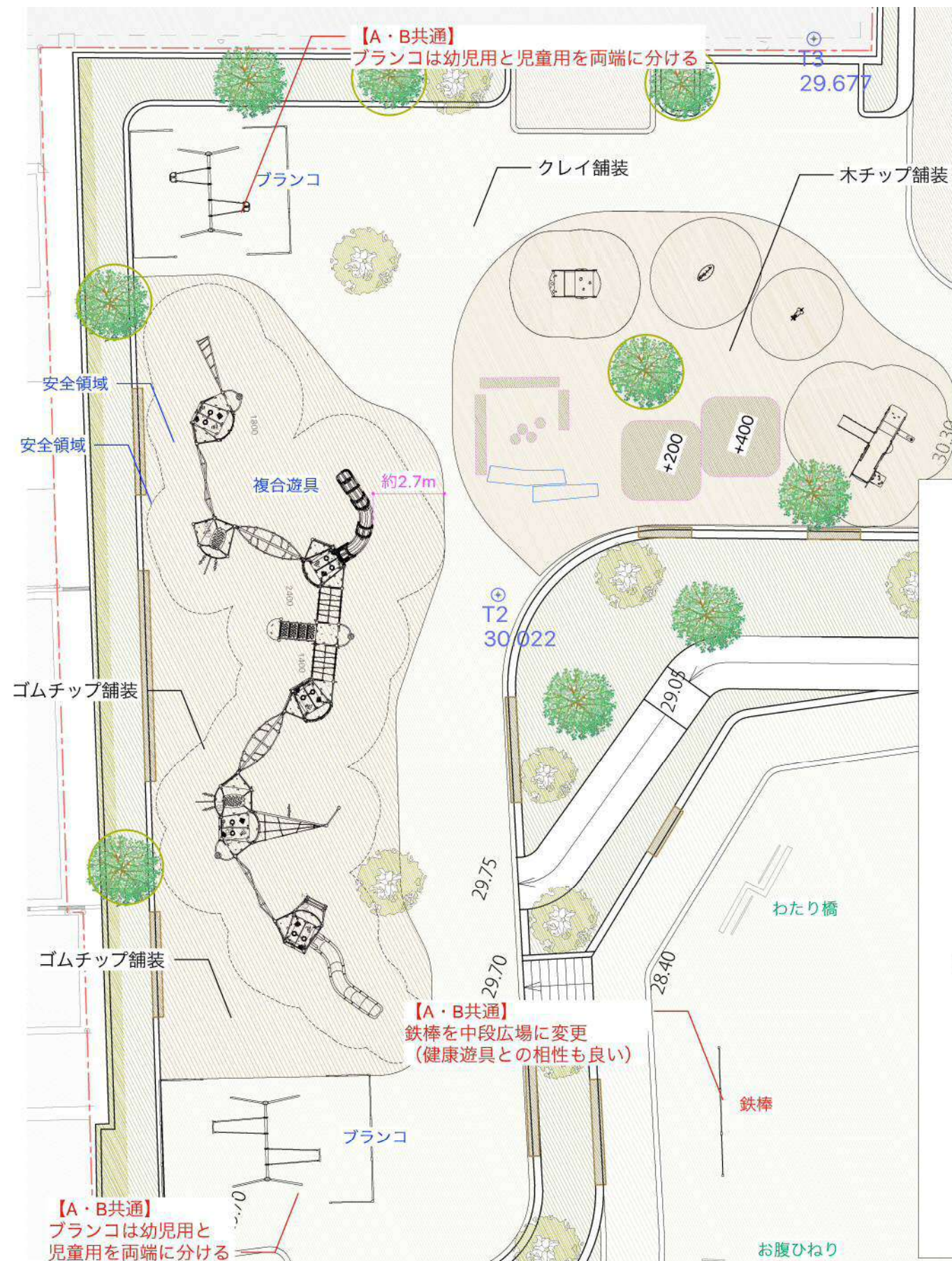
今回A案

- ・複合遊具、回転遊具、ネット遊具と複数の遊具を配置
- ・おおむね3～4箇所に遊び場のまとまりができる
- ・回転系、滑降系、上下動系など多様な遊びを楽しむことができる

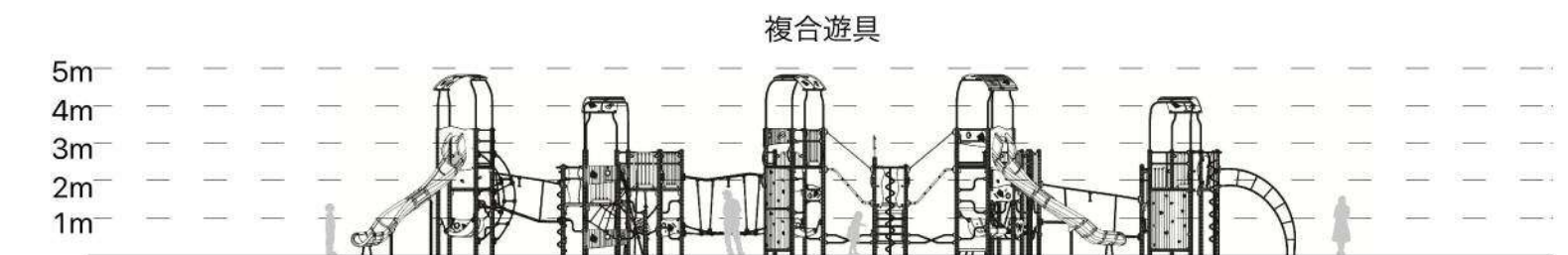


今回B案

- ・複合遊具を最大限まで拡張した案
- ・1つの遊具で3～4箇所の遊ぶまとまりを作ることができる
- ・上下運動系、滑降系など複数存在するため、他が埋まっても他の場所で同様の遊びを行うことができる



■児童用遊具立面図(S=1/200)



■児童用遊具イメージ図





※写真はイメージです。

ロッキング ダック

M188P

対象年齢 1 ～ 4 歳

乳幼児の体のサイズに合わせた低い座面と、前後の一方のみ揺らすことができるロッキング ダックは、心地よいリズムの動きを体験できます。一定の揺れは、「言葉の発達」に欠かすことのできないリズム感につながります。



※写真はイメージです。

ロッキング エレファント

M189P

対象年齢 1 ～ 4 歳

小さな子どもたちが好む上下に体をゆらす動き。ロッキング エレファントは、その「揺れる」という動きをよりダイナミックに体験することができます。一つひとつの動きができるようになり、「動くこと」そのものが楽しい乳幼児期にぴったりの遊具です。



ダブルハウス

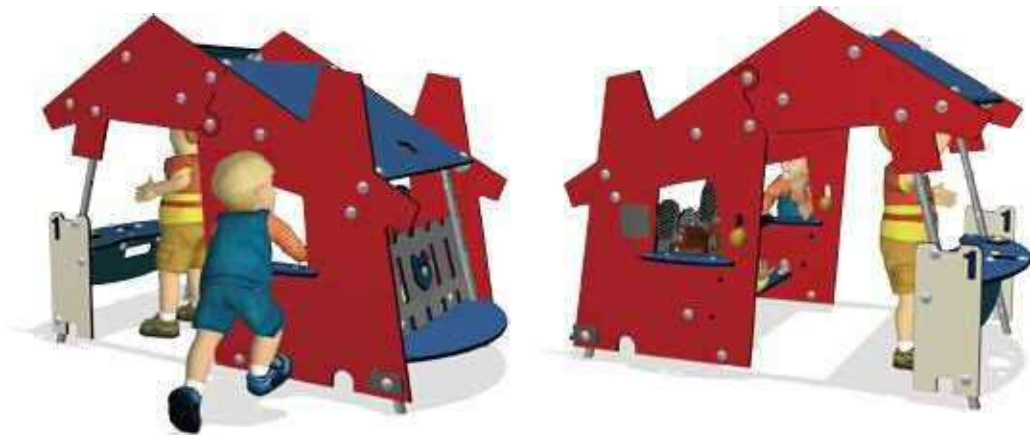
MSC5415P

対象年齢 1 ～ 4 歳

乳幼児にも分かりやすく、明るい色使いのテーマパネルです。煙突のついた赤いお家は小さな子どもたちに体のサイズに合わせて設計されています。



※写真はイメージです。



トドラータウン

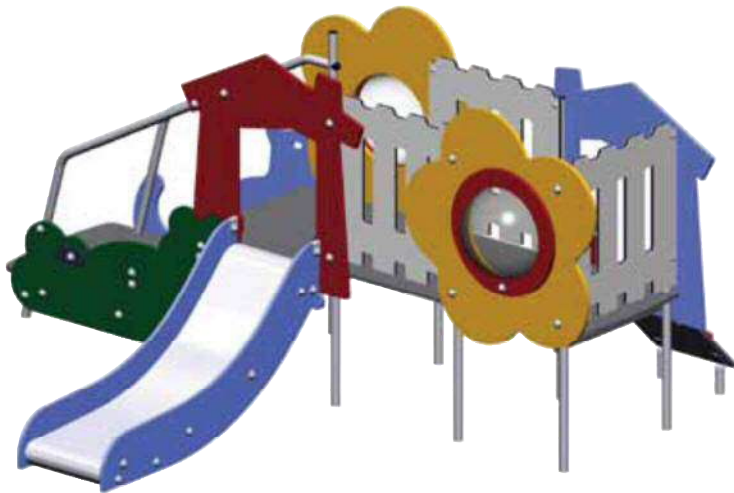
MSC690

対象年齢 1 ～ 4 歳

乳幼児の「遊んでみたい」という気持ちを刺激するデザインを持つトドラータウン。すべり台の上から下という動きは、視界の変化を与え、子どもたちの視野を広げます。



※写真はイメージです。





※写真はイメージです。



※写真はイメージです。

コロコルド・パフォーマードーム

COR8842

対象年齢 6 ～ 12 歳

垂直水平の構造物ではないコロコルド。あそびのなかで子どもたちは、ロープという部材を「握って・登る」という動きを通して自分の筋力を実感できます。不安定な足場は、腹筋や背筋などからだを支える体幹筋を鍛えるきっかけとなります。



FUNKY ELEMENTS ファンキーエレメンツとは 小学生が夢中になる

基本的な動作が出来るようになった子どもたちには「もっと動きたい」「もっと挑戦したい」という思いが生まれます。ファンキーエレメンツは、子どもたちが自分で遊び方を考え、発見し、そして自分で選んだ挑戦をやりとげたときの達成感を得られる遊具。チャレンジする喜びを感じながら学び、その結果からからだをバランスよく形成していきます。子どもから大人までもが一緒に遊び、学び、楽しめる遊具が、魅力的なあそび場づくりを応援します。

ファンキーエレメンツの4大特長

Point
1

多様な「動き」

「どこから登りはじめようか」、「つぎはどこへ行こうか」。ファンキーエレメンツはアクセスの仕方によって、それに伴う動作も異なります。このため、子どもはたくさんのからだの動きを体験します。



Point
2

チャレンジ・360度プレイ

随所に設けられたステップをつたって、一度も地面にふれることなく、ぐるりと遊具のまわりを360度移動することができます。地面に触れないようにするには、どうやってみようか。工夫とチャレンジする機会に満ちています。



Point
3

一緒に過ごす楽しさ

一緒に同じ体験を共有する楽しさ。そんな時間を提供し、仲間とのコミュニケーションする力を与えます。



Point
4

メンテナンスが容易

基本部材をスチール（柱部分）とプラスチックとしているため、メンテナンスにかかる労力を軽減します。



ファンキー エレメンツ スペシャル

ELE5901067

対象年齢 6 ～ 12 歳



スーパーノバ

GXY916

対象年齢 6 ～ 15 歳

傾斜した輪がダイナミックに回転するバランス遊具です。輪の上をバランスを取りながら歩いたり、仲間を乗せてまわして遊びます。ひとりで自分の可能性に挑戦することもできますが、グループで遊ぶとその楽しさや難易度が変化し、シンプルななかにもチャレンジする楽しさがあふれています。



※写真はイメージです。





ファンキー エレメンツ スペシャル

ELE5901065

対象年齢 6 ～ 12 歳